

令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査等の結果
滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

1 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の総発生件数 <表(1)>

公立小・中学校および県立高等学校における暴力行為の総発生件数 981件
【前年度(975件)より6件増加】

(2) 学校種別の発生件数 <表(2)>

① 公立小学校

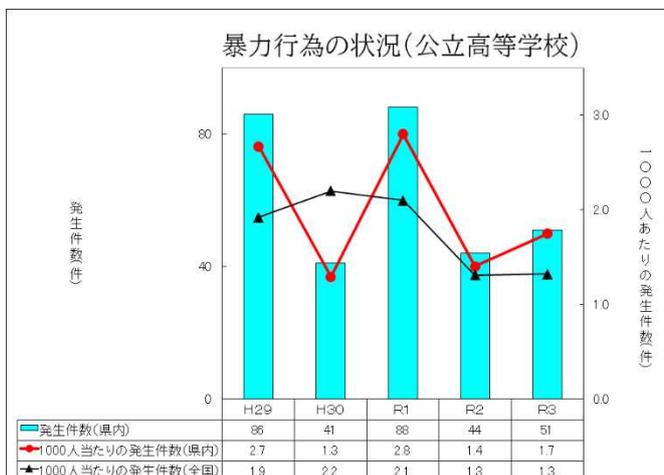
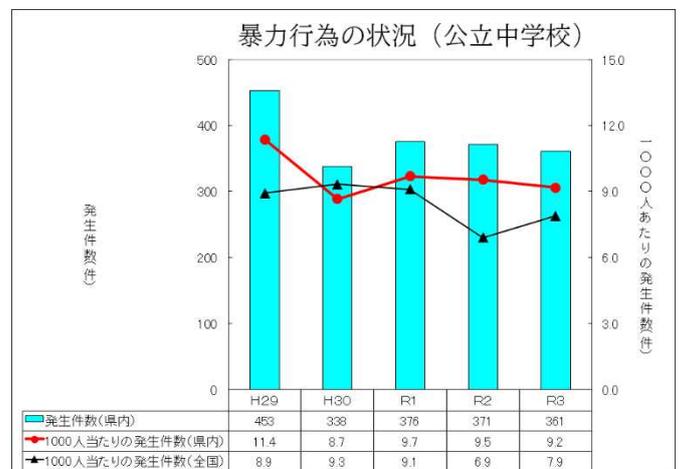
・総発生件数は 569件【前年度(560件)より9件増加】

② 公立中学校

・総発生件数は 361件【前年度(371件)より10件減少】

③ 県立高等学校

・総発生件数は 51件【前年度(44件)より7件増加】



(3) 校種別・形態別の発生件数〈表(3)〉

(暴力行為の形態は「対教師暴力」「生徒間暴力」「対人暴力」「器物損壊」の四形態)

① 公立小学校

- ・「対教師暴力」169件【前年度(186件)より17件減少】
- ・「生徒間暴力」308件【前年度(297件)より11件増加】
- ・「対人暴力」3件【前年度(2件)より1件増加】
- ・「器物損壊」89件【前年度(75件)より14件増加】

※ 県内における具体的事例

- ・授業妨害をする児童に指導をした教師に対し、暴力をふるった。〈対教師暴力〉
- ・遊んでいる際、注意をしてきた児童を殴った。〈生徒間暴力〉
- ・気持ちを抑えきれずに、ガラスを破損させた。〈器物損壊〉

② 公立中学校

- ・「対教師暴力」122件【前年度(164件)より42件減少】
- ・「生徒間暴力」170件【前年度(159件)より11件増加】
- ・「対人暴力」7件【前年度(8件)より1件減少】
- ・「器物損壊」62件【前年度(40件)より22件増加】

※ 県内における具体的事例

- ・家から興奮した状態で登校し、職員室で教師に物を投げた。〈対教師暴力〉
- ・自分を馬鹿にしていると勘違いし、パニックになり仲間に暴力をふるった。
〈生徒間暴力〉
- ・怒りのコントロールができず、物に当たった。〈器物損壊〉

③ 県立高等学校

- ・「対教師暴力」12件【前年度(3件)より9件増加】
- ・「生徒間暴力」25件【前年度(27件)より2件減少】
- ・「対人暴力」4件【前年度(1件)より3件増加】
- ・「器物損壊」10件【前年度(13件)より3件減少】

※ 県内における具体的事例

- ・注意をされたことに対して腹を立て、教師に対し暴力に及んだ。〈対教師暴力〉
- ・SNSの投稿に対し、自分への誹謗中傷だと思い込み、相手につかみかかった。
〈生徒間暴力〉
- ・自分の感情をおさえられず、壁に穴をあけた。〈器物損壊〉

2. 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況

(1) いじめを認知した学校数（学校総数に対する割合）

公立小・中学校および県立学校はいじめを認知した学校の割合は96.1%【前年度 95.1%】

① 公立小学校

・認知学校数 216校（98.2%）【前年度 216校 98.2%】

② 公立中学校

・認知学校数 98校（100%）【前年度 97校 99.0%】

③ 県立高等学校

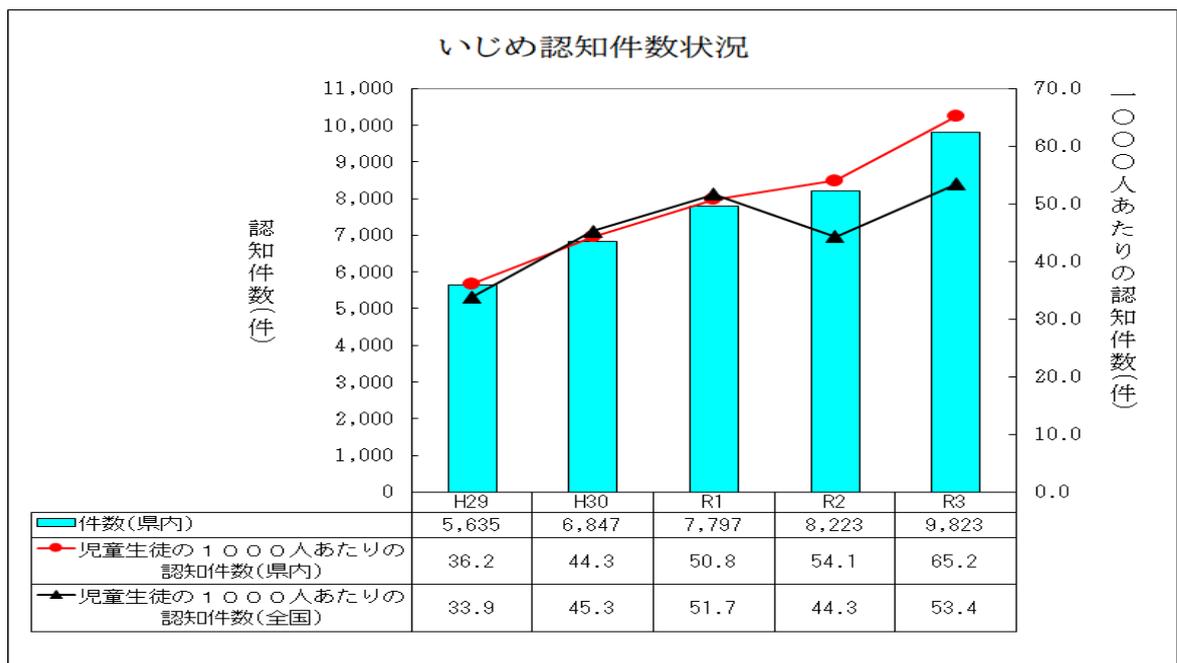
・認知学校数 46校（90.2%）【前年度 46校 90.2%】

④ 県立特別支援学校

・認知学校数 10校（62.5%）【前年度 6校 40.0%】

(2) 県内公立学校いじめの認知件数〈表(4)〉

公立小・中学校および県立学校はいじめの総認知件数9,823件
【前年度（8,223件）より1,600件増加】



(3) 校種別いじめの認知件数〈表(5)〉

① 公立小学校

・認知件数 7,457件【前年度（6,153件）より1,304件増加】

② 公立中学校

・認知件数 2,114件【前年度（1,875件）より 239件増加】

③ 県立高等学校

・認知件数 207件【前年度（ 177件）より 30件増加】

④ 県立特別支援学校

・認知件数 45件【前年度（ 18件）より 27件増加】

(4) いじめの態様〈表(6)〉

ア 小学校における多い態様

- ① 冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・ 軽い気持ちで、友達にからかわれた。
- ・ 悪口を書いた紙を連絡袋に入れられた。

イ 中学校における多い態様

- ① 冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・ 相手の気持ちが考えられず、悪ふざけで嫌なことを言われた。
- ・ 自転車の鍵を抜かれたり、教室の私物を動かされた。

ウ 高等学校における多い態様

- ① 冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・ 部活内で、ある生徒をからかう発言がエスカレートした。
- ・ SNS上で自分だけが仲間外れになるような書き込みをされた。

エ 特別支援学校における多い態様

- ① 冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・ 嫌なあだ名をつけられ、からかわれた。
- ・ 理由もなく、暴言を言われた。

3. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況

(長期欠席は理由別に「病気」「経済的理由」「不登校」「新型コロナウイルスの感染回避」「その他」の5種類)

(1) 理由別長期欠席者数および不登校児童数(小学校)

- ① 公立小学校における長期欠席〈表(7)(8)〉
年間30日以上の長期欠席者数 2,420人【前年度(1,595人)より825人増加】

- ② 長期欠席者のうち不登校児童数 1,066人【前年度(851人)より215人増加】
不登校児童の在籍率 1.33%【前年度(1.05%)より0.28ポイント増加】

(2) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数(中学校)

- ① 公立中学校における長期欠席〈表(9)(10)〉
年間30日以上の長期欠席者数 2,872人【前年度(2,052人)より820人増加】

- ② 長期欠席者のうち不登校生徒数 1,835人【前年度(1,358人)より477人増加】
不登校生徒の在籍率 4.66%【前年度(3.49%)より1.17ポイント増加】

(3) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数（高等学校）

① 県立高等学校における長期欠席者数 **〈表(11) (12)〉**】

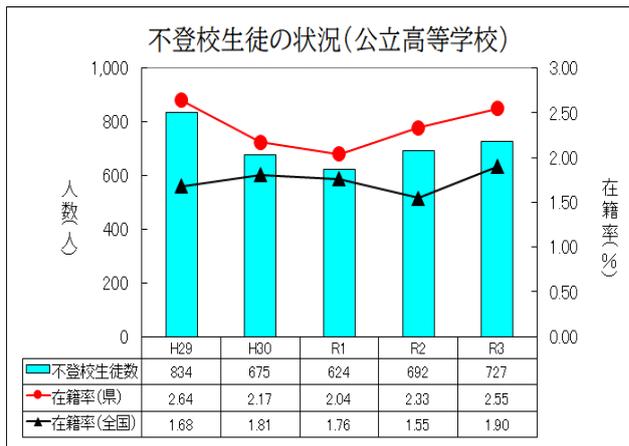
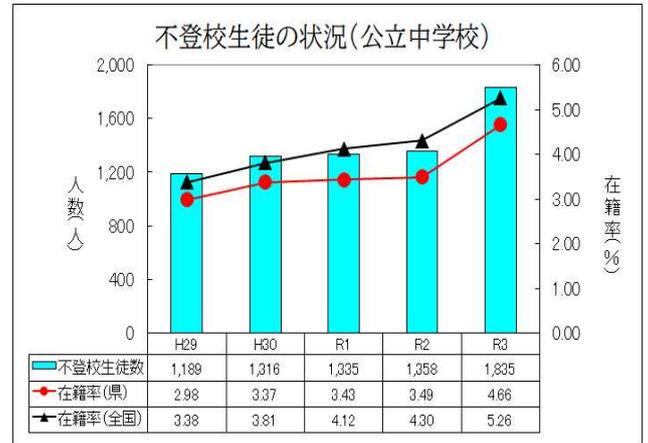
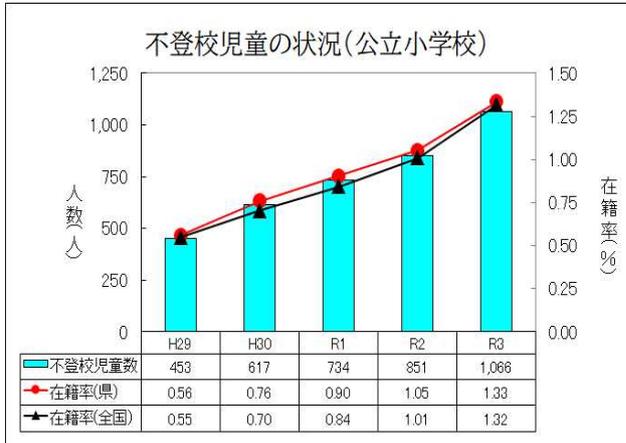
年間30日以上の長期欠席者数 1,099人【前年度(887人)より212人増加】

② 長期欠席者のうち不登校生徒数 727人【前年度(692人)より35人増加】

不登校生徒の在籍率 2.55%【前年度(2.33%)より0.22ポイント増加】

(全日制の不登校生徒数 573人【前年度(558人)より15人増加】)

(定時制の不登校生徒数 154人【前年度(134人)より20人増加】)



(4) 不登校の要因

ア 公立小学校における不登校の要因 **〈表(13)〉**

- ・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が515人(48.3%)、「親子の関わり方」が187人(17.5%)を占める。

イ 公立中学校における不登校の要因 **〈表(14)〉**

- ・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が896人(48.8%)、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が270人(14.7%)を占める。

ウ 県立高等学校(全日制)における不登校の要因 **〈表(15)〉**

- ・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が244人(42.6%)、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が102人(17.8%)を占める。

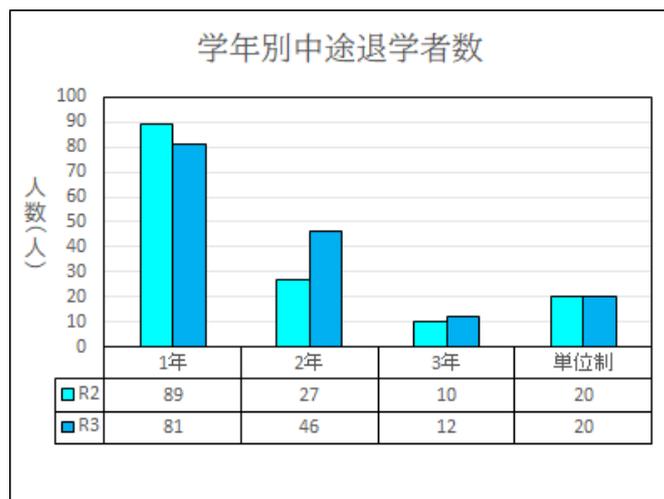
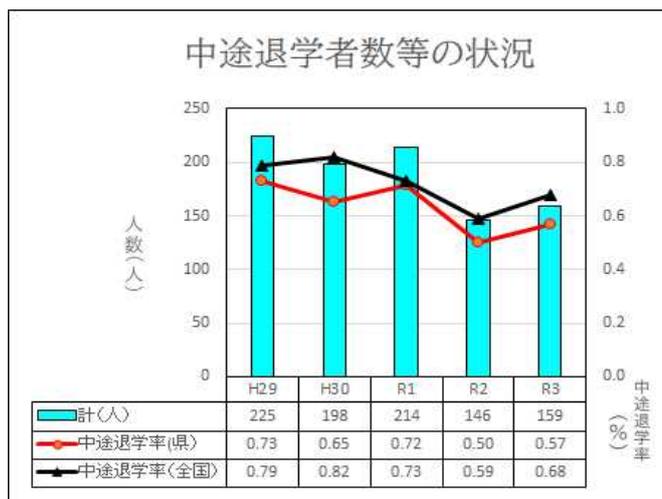
エ 県立高等学校(定時制)における不登校の要因 **〈表(16)〉**

- ・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が88人(57.1%)、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が39人(25.3%)を占める。

4. 県立高等学校における中途退学者数等の状況（全日制）

（1）年度別・学年別中途退学者数・中途退学率〈表（17）〉

- ① 中途退学者数 159 人【前年度（146 人）より 13 人増加】
- ② 中途退学率 0.57%【前年度（0.50%）より 0.07 ポイント増加】
- ③ 1 年生の中途退学者数 81 人【前年度（89 人）より 8 人減少】
- ④ 2 年生の中途退学者数 46 人【前年度（27 人）より 19 人増加】
- ⑤ 3 年生の中途退学者数 12 人【前年度（10 人）より 2 人増加】
- ⑥ 単位制の中途退学者数 20 人【前年度（20 人）より増減なし】



（2）学科別中途退学者数・中途退学率〈表（18）〉

- ① 普通科の中途退学者数 94 人【前年度（91 人）より 3 人増加】
普通科の中途退学率 0.49%【前年度（0.46%）より 0.03 ポイント増加】
- ② 専門学科の中途退学者数 46 人【前年度（36 人）より 10 人増加】
専門学科の中途退学率 0.86%【前年度（0.65%）より 0.21 ポイント増加】
- ③ 総合学科の中途退学者数 19 人【前年度（19 人）より増減なし】
総合学科の中途退学率 0.54%【前年度（0.53%）より 0.01 ポイント増加】

（3）学年別理由別中途退学者数〈表（19）〉

- ・最も多い理由「学校生活・学業不適應」
74 人（46.5%）【前年度（65 人）より 9 人増加】
- ・次に多い理由「進路変更」 50 人（31.4%）【前年度（54 人）より 4 人減少】